


- ◆ **コイントス (2022年改正)**
  - コイントスで第1または第2ピリオドのどちらでキックオフを行うか決める。
  - エンドは、ホームチームが対戦表左のチームが第1ピリオドで攻めるゴールを決める。
- ◆ **キックオフ**
  - サッカー同様に前方に蹴らなくても良い。キックオフのキッカーのみが相手陣内に入って良い。
- ◆ **審判の位置**
  - 主審 ⇒ 試合開始時ベンチ側。
  - 第2審判 ⇒ 試合開始時ベンチと反対側
  - キックイン毎に、対角線を入れ替える。
- ◆ **ゴールクリアランス**
  - キーパーがボールをリリースしたらインプレー。【ペナルティエリアを出る必要ない】
  - 相手競技者はペナルティエリアの外にでなければならない。
  - 手でなげろのみである。ゴールキックのように足で蹴り出した場合、やり直し。
  - 3種以下(中学以下)は、ゴールキーパーが投げたまたは蹴ったボールが、直接ハーフウェイラインを超えたら相手チームの間接フリーキックをハーフウェイラインを超えた場所の真下の地点から行う。(任意の地点で無い)
- ◆ **4秒ルールが適用されるプレー**
  - キックイン
  - コーナーキック
  - ゴールクリアランス
  - 自陣ハーフ内でのキーパーのボールキープ (足でのキープも含む)
  - フリーキック
- ◆ **4秒ルールが適用されないプレー**
  - キックオフ
  - PK
- ◆ **4秒カウントのシグナル**
  - 腕を上上げて、指でカウントするのではなく1秒1秒腕を横に振ってカウントします。【振る手は原則、前方、進行方向の手とする】

フリーキックも、腕を横に振ることになります。


- ◆ **キーパーの負傷**
  - キーパーもフィールドプレーヤー同様にピッチ内で治療できなくなった。タンクで搬送して、交代要員からキーパー選出して、すみやかに試合再開する。
- ◆ **キックイン**
  - ボールは、タッチライン上に置かなければならなくなった。ラインから離れてピッチ外は違反で相手キックイン。
  - その代わりに、軸足がピッチ内に入っても良くなった。
  - 誰にも触れずにピッチから出た場合、元の位置ではなく、出た地点で、相手キックイン。
  - キッカーのみがピッチ外に出て良い。⇒2人ピッチ外にでたら違反で相手チームのキックインとなる。
  - キッカー以外の競技者がボールをセットし、そのままピッチ外を走り、相手競技者を騙すような行為は違反で相手キックインとなりその競技者は警告される(2022年改正)

- ◆ **決定的得点の機会の阻止**
  - レッドの考慮事項として、1項目追加
    - ★ 反則とゴールとの距離
    - ★ ボールをキープできる、またはコントロールできる可能性
    - ★ 全体的なプレーの方向
    - ★ ゴールキーパー及び守備側フィールドプレーヤーの位置と数
    - ★ ゴールが『守られている』かどうか...追加項目
  - よって、ゴールをキーパーが守っていると判断されたら、レッドでは無くなった。キーパーと1対1となっても、レッドでは無いケースあり。
- ◆ **コーナーキック**
  - キッカーのみがピッチ外に出て良い。
  - ボールが静止していない⇒相手チームのゴールクリアランス
  - ボールがコーナーエリア外⇒相手チームのゴールクリアランス
- ◆ **ドロップボール**
  - ペナルティエリア内のドロップボールも保持していたチームに渡す。攻撃側はライン上から
  - ペナルティエリア外でのドロップボールは、止めた際に最後にボールに触れたチームの一人に渡す。その際、敵も味方も誰も、2m以内に近づいてはならない。
- ◆ **フリーキック**
  - 守備側が2人以上の壁を作ったら、攻撃側の選手は1m以内に近づけない。
  - ペナルティエリア内からのフリーキックは蹴られたらインプレー。エリアから出る必要無くなった。
- ◆ **ファウル**
  - ピッチ外でのファウルはドロップボールでなく、フリーキックとなった。再開ポイントは、最も近い境界線上。
  - ハンドの反則のうち
    - 偶発的で手や腕で体を大きくしていない場合に自分の手や腕から直接ゴールしたら間接フリーキックとなる【累積しない】(2022年改正)
    - 手や腕で体を大きくしていない場合に偶発的にボールが自分の手や腕に触れた直後にゴールしたら間接フリーキックとなる【累積しない】(2022年改正)
- ◆ **ペナルティキック (2022年改正)**
  - ボールが蹴られるとき、キーパーは少なくとも片足の一部をゴールラインに触れさせているか、ゴールラインの上方、または後方に位置させておかなければならない。
- ◆ **ペナルティマークからのキック**
  - 試合終了後のペナルティマークからのキックは、両チーム 5本のキックを行う。(3本で無い)
  - 試合終了後の、交代要員含めて、人数合わせる際に 人数の多いチームは人数を減らしても、減らさなくても、どちらでも良い。(選択できる)
  - ペナルティマークからのキックの進行中一方のチームの競技者数が相手チームより少なかった場合、多いチームは競技者数を減らすこともできる(選択できる)(2022年改正)
  - スコア表示を0-0にリセットして、PK戦の結果を表示する。
- ◆ **キーパー特有ファウル【バックパスとリターンパス】**
  - 味方からのキックや、キックインを手で扱えば相手の間接フリーキック。
  - ゴールクリアランス等、キーパーから出たボール(キックイン、フリーキックなども含め)は、ハーフウェイラインを超えたとしても、相手競技者に触れなければ、自陣にいるキーパーへのリターンパスは、ファウルで、相手の間接フリーキックとなる。
- ◆ **得点**
  - ピリオドの終了はブザーの音とする。ブザー後の審判の笛では無い。よって、ブザービートは無くなり、シュートされ、空中でブザー鳴ったら終了で、得点ではない。